

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目的	コンサート業界・音楽業界で活躍するために必要な「技術」「知識」に加え、魅力的な人物として成長できるための柔軟な発想といかなる場合においても素早く行動できる実践力を養う。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
文化・教養	芸術専門課程		コンサート・イベント科		平成7年文部科学大臣告示第146号		-
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,710	1,020	0	1,500	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
480 人		578 人		12 人		16 人	
総教員数		28 人					
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価 ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S: 90点以上 A: 80～90点 B: 70～79点 C: 60～69点 D: 59点以下は不合格 P: 単位認定			
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏 季: 8月3日～9月4日 ■冬 季: 12月23日～1月6日 ■学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件 進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動 ■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社アップフロントインターナショナル、株式会社エムエスアイジャパン東京、株式会社東京共立、株式会社USEN、ライティングビッグワン株式会社 等 ■就職率^{※1} : 75.6 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 68.5 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等 ビジネス能力検定(B検)ジョブパス 舞台機構調整技能士 イベント検定 玉掛け技能講習 小型移動式クレーン運転技能講習 高所作業車運転特別教育 フォークリフト運転特別教育 低圧電気取扱特別教育			
中途退学の現状	■中途退学者 23 名 平成26年4月1日 在学者 539 名 平成27年3月31日 在学者 516 名		■中退率 4.3 % (平成26年4月1日 入学者を含む) (平成27年3月31日 卒業者を含む)				
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由						
	■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け、個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

コンサート・音楽業界に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。また、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容及び方法について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長
杉山 一夫	株式会社リンキディンク 代表取締役
今井 常夫	PRG株式会社 代表取締役
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長 ミュージックカレッジ カレッジ長
中村 英詞	日本工学院専門学校 コンサート・イベント科 科長
吉野 雄一郎	日本工学院専門学校 コンサート・イベント科 主任
藤井 麦彦	日本工学院専門学校 コンサート・イベント科 主任
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長

(開催日時)

第1回 平成27年3月20日 13:00～14:00 14:30～15:00

第2回 平成27年9月2日 13:00～14:00 14:30～15:00

第3回 平成28年3月(開催予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

コンサート制作・運営・進行・オペレーターの実習において、実践的な指導を受けるためにコンサート・音楽業界での実績のある企業を選定している。また、指導を受けるにあたっては各分野で必要となる知識、技術、感性を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を選定している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ベーシック プロダクト1	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解しつつ、全てのコースの基礎部分を実習形式で学習します。	株式会社ホットスタッフ・プロモーション/株式会社チームアクティブ/合同会社M&S
ベーシック プロダクト2	一般照明の種類・効果・照明プランニング、ミキサー・スピーカー・エフェクター・舞台装備などの取り扱い方を習得します	株式会社ホットスタッフ・プロモーション/株式会社チームアクティブ/合同会社M&S
ライブプロダクト2	2年間の集大成として卒業コンサートを行い、プロアーティストのコンサート全般の運営(企画・制作・舞台・PA・照明)を実施します。	株式会社ホットスタッフ・プロモーション/株式会社チームアクティブ/合同会社M&S

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

常に新しい技術や知識が必要となるエンタテインメント業界では特に2020年東京オリンピック開催に向けて急速な変化がもたらされる事は十分考えられ、そのため国内のみならずグローバルに活躍できる人材の輩出を目的とした高度な技術、知識。さらに豊かな発想力。また広く親交を深められる協調性を持った人材を育成してく事が重要と考え、業界知識にとどまらない研修を実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役社長
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)教育事業部 教育推進グループ セクションチーフ
前原 恵子	公益社団 全国経理教育協会 作問委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長
高橋 修	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/26_kobetsuhyoka_kmt.pdf

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_kankeisyahyoka_kmt.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_opendeata_kmt.pdf

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル1	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ビジネススキル2		1・後	15	1	○			○		○		
○			ベーシックスキル1	音楽業界・放送業界で必要な専門知識の基礎を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ベーシックスキル2		1・後	15	1	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	自分の人生・キャリアについて、すべてに共通するポリシーとスキルを学びプランニングします。	1・前	15	1	○			○		○		
○			キャリアデザイン2		1・後	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ1	クラス単位でライブ企画や制作プロジェクト、ボランティア活動、就職・進路指導などを行います。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ2		1・後	15	1	○			○		○		
○			プレゼンテーション1	資料のまとめ方、発表法などプレゼンテーションに必要な技法を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			プレゼンテーション2		1・後	15	1	○			○		○		
○			イントロダクション	新入生オリエンテーションと導入教育を行います。	1・前	120	8	○			○		○		
		○	資格対策講座1	ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、Word・Excel検定などの資格受験対策講座です。	1・前	15	1	○	△		○		○		
		○	資格対策講座2		1・後	15	1	○	△		○		○		
		○	特別講義1	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・前	15	1		△	○	○			○	
		○	特別講義2		1・後	15	1		△	○	○			○	
		○	海外研修1	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体感します。(研修先、行程は毎年異なります)	1・通	30	1		△	○	△	○	○		
		○	ボランティア1	社会貢献、地域貢献といった体験を通して自身も社会に関する喜びを得ていきます。	1・通	30	1		△	○		○	○		

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	インターンシップ1	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	1・通	30	1		△	○		○		○	
○			英語1	日常会話から始まり、海外研修で使える程度までを学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			英語2		1・後	15	1	○			○		○		
○			ミュージックジョブ1	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	1・前	30	2	○			○			○	
○			ミュージックジョブ2		1・後	30	2	○			○			○	
○			コンサート概論1	コンサートに関する全ての知識を学び、単なる技術者としてだけでなく、業界をリードする人材としての知識、能力も身に付けます。	1・前	45	3	○	△		○			○	
○			コンサート概論2		1・後	45	3	○	△		○			○	
○			スコアリーディング1	音楽系スタッフとして大切なスコア（総譜）の読譜を代表的な曲を使用しながら学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○			スコアリーディング2		1・後	15	1	○			○			○	
○			ライブステージ鑑賞1	アーティストの生演奏や講演などを聞き、アーティスト及び周辺も含めたプロの技術を学びます。	1・通	30	2			○	○		○		
		○	特別講義A	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	特別講義B		1・後	30	2	○			○			○	
○			ベーシックプロダクト1	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解しつつ、全てのコースの基礎部分を実習形式で学習します。	1・前	180	6		△	○	○			○	○
○			ベーシックプロダクト2	制作運営の基礎を学び、現場スタッフの仕事を実践します。一般照明の種類・効果・照明プランニング、ミキサー・スピーカー・エフェクター、舞台設備などの取り扱い・使い方などを習得します。	1・後	135	4		△	○	○			○	○
○			ライブプロダクト1	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解しつつ、本番を意識しながら、安全かつ的確な作業を実習形式で学習します。また1年次のまとめとして行うコンサート制作でもあり、全コース合同で1つのコンサートも作り上げます。	1・前	45	1		△	○	○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ベーシックスキル3	社会人になるにあたってのビジネスマナー、著作権等法規、音楽基礎知識、パソコンスキル、一般常識等、幅広く学習します。	2・前	15	1	○	△		○		○		
		○	ベーシックスキル4		2・後	15	1	○	△		○		○		
○			キャリアデザイン3	自分の人生・キャリアについて、すべてに共通するポリシーとスキルを学びプランニングします。	2・前	15	1	○			○		○		
		○	キャリアデザイン4		2・後	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ3	クラス単位でライブ企画や制作プロジェクト、ボランティア活動、就職・進路指導などを行います。	2・前	15	1	○	△		○		○		
		○	ワークショップ4		2・後	15	1	○	△		○		○		
		○	資格対策講座3	ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、Word・Excel検定などの資格受験対策講座です。	2・前	15	1	○			○		○		
		○	資格対策講座4		2・後	15	1	○			○		○		
		○	特別講義3	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・前	15	1	○			○		△	○	
		○	特別講義4		2・後	15	1	○			○		△	○	
		○	海外研修2	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体感します。(研修先、行程は毎年異なります)	2・通	30	1		△	○		○	○		
		○	ボランティア2	社会貢献、地域貢献といった体験を通して自身も社会に関する喜びを得ていきます。	2・通	30	1		△	○	△	○	○		
		○	インターンシップ2	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。また、内定企業で行われる長期研修です。	2・後	420	14			○		○		○	
○			ミュージックジョブ3	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	ミュージックジョブ4		2・後	30	2	○			○			○	
○			作品研究1	プロとして知っておくべき名曲をポピュラー音楽中心に歴史をたどりながらCD・ビデオDVDなどで知ります。またポピュラー音楽以外にクラシックから民族音楽まで、すべて音楽ジャンルの学習を行います。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	作品研究2		2・後	15	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 コンサート・イベント科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンタテインメントプロデュース1	様々な音楽ソフトやエンターテインメント、アーティストを研究し、なぜビジネスとなったかなどを研究し、業界で活躍できるスキルを学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	エンタテインメントプロデュース2		2・後	15	1	○			○			○	
○			音楽ビジネス・マネジメント1	1年次で学んだマナーと常識、業界知識を活かした、更に高度な実際に音楽業界に就職した際のビジネスに関わる事を学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○	音楽ビジネス・マネジメント2	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	2・後	15	1	○			○			○	
		○	ライブステージ鑑賞2	アーティストの生演奏や講演などを聞き、アーティスト及び周辺も含めたプロの技術を学びます。	2・通	30	2			○		○	○		
		○	特別講義C	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	特別講義D		2・後	30	2	○			○			○	
○			コンサートプロダクト1	マーケティングを行い、効率的なプロモーション方法を研究します。学内施設を中心としたコンサートを繰り返しながら各コースのプロとしての能力を心身ともに高めます。	2・前	180	6		△	○	△	○		○	
		○	コンサートプロダクト2	出演交渉や調整を行います。また、予算の管理など、すべてのとりまとめ方を学びます。	2・後	135	4		△	○	△	○		○	
○			イントロダクション2	就職活動に向けての対策を行い、必要な知識を学びます。	2・通	90	3	○			○		○		
		○	インターシップ3	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	2・通	60	2			○		○		○	
		○	ライブプロダクト2	コンサート運営に関わる各スタッフの役割を理解しつつ、本番を意識しながら、安全かつ的確な作業を実習形式で学習します。また、2年間の集大成として卒業コンサートを行い、プロアーティストのコンサート全般の運営（企画・制作・舞台・PA・照明）を全コースが力を合わせて実施します。	2・後	45	1		△	○	△	○		○	○
		○	カレッジプロジェクト	学生委員会、ワークショップなどで計画したプロジェクトや自主コンサート、ボランティア活動などを実行します。	2・通	60	2		△	○	○	△	○		
合計			62 科目			2,520 単位時間 (116 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業時に必修科目1,320時間(63単位)取得および選択科目を420時間(18単位)以上取得し、合計1,740時間(81単位)以上取得すること	1学年の学期区分 2 期 1学期の授業期間 15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。